

# 今こそ 草の根からの行動を

原爆投下から62年を迎えた広島、長崎。8月7日から9日まで開催された、「原水爆禁止2007年世界大会・長崎」には大阪自治労連から40人が参加しました。開会総会、分科会、佐世保基地調査行動、原爆遺構めぐり、閉会総会など、さまざまな行事・行動に参加し、「核兵器なくせ」「非核・平和の日本を」「憲法9条まもれ」の声を上げました。

全国から7000人が参加した閉会総会では、「核兵器のない平和で公正な世界の実現へ、力を合わせ、今こそ行動へ立ち上がりましょう」の「長崎からのよびかけ」と、国連・各国政府に核兵器全面禁止条約の協議開始を訴える「長崎からの手紙」を採択しました。

## 原水爆禁止2007年世界大会・長崎



参加者の半数は青年というのが原水爆禁止世界大会の特徴。全国から集まった青年・高校生たちが、反核・平和をアピールしました



核兵器廃絶の思いを語る翻訳家の池田香代子さん



核兵器の廃絶と平和な世界の実現を目指す  
高校生1万人署名活動

# 核兵器のない世界へ

## 日時だよ! 全員集合

2007年8月～10月の  
主な行事・とりくみ

- 8月18日(土)～19日(日) 自治労連第29回定期大会・事前大会(神戸市)
- 8月20日(月)～22日(水) 自治労連29回定期大会(神戸市)
- 8月25日(土)～26日(日) 第53回日本母親大会(東京)
- 8月30日(木) 映画「日本の青空」上映会(大阪市・中央区ドーンセンター)
- 9月1日(土) 大阪労連第35回定期大会(エルおおさか)
- 9月1日(土)～2日(日) 第49回自治体学校(横浜市)
- 9月6日(木)～7日(金) 第20回大阪自治労連定期大会(シティプラザ大阪)
- 9月9日(日) 映画「日本の青空」上映会(寝屋川市民会館)
- 9月12日(水)～13日(木) 近畿ブロック第18回軟式野球大会(万博公園野球場)
- 9月20日(木) 第18回自治労連近畿ブロック定期大会(シティプラザ大阪)
- 9月22日(土) 大阪自治労連現業評議会定期総会(大阪グリーン会館)
- 9月23日(日) 大阪労連女性部定期大会(国労大阪会館)
- 9月29日(土) 大阪革新懇話会2007年次総会(大阪グリーン会館)
- 9月29日(土)～30日(日) 第52回はたらく女性の中央集会(北海道)
- 10月4日(木)～6日(土) 自治労連第19回全国スポーツ大会・女子バレーボール大会(広島市)
- 10月5日(金)～6日(土) 衛都連第17回定期総会(信貴山)

## 第30回自治体労働者平和のつどい

### 大阪自治労連婦人部の 多彩な活動も紹介



大阪自治労連婦人部の活動を報告する梅本さん

毎年の原水爆禁止世界大会に合わせて開催される「自治体労働者平和のつどい」が、8月8日に長崎市で開かれました。今回で30回を迎えたつどいには全国から130人の自治体労働者が集まりました。

つどいでは、フリージャーナリストの西谷文和さん(元吹田市職労組合員)が「報道されなかったイラク戦争」のテーマで、豊富な映像と資料を示して講演しました。これまで4回にわたってイラクに入国して取材活動を行ってきた西谷さんは、イラク戦争で2000トン以上という大量に使用された劣化ウラン弾の被害の実態や、とくに、イラクでは戦争さえも民間化され、民間戦争会社の傭兵が2万人もいる実態と、その利益をむさぼっているのがアメリカの権力者たちである事実を指摘しました。

また、つどいでは、大阪自治労連婦人部の梅本千代子さん(元吹田市職労組合員)が、「報道されなかったイラク戦争」のテーマで、豊富な映像と資料を示して講演しました。これまで4回にわたってイラクに入国して取材活動を行ってきた西谷さんは、イラク戦争で2000トン以上という大量に使用された劣化ウラン弾の被害の実態や、とくに、イラクでは戦争さえも民間化され、民間戦争会社の傭兵が2万人もいる実態と、その利益をむさぼっているのがアメリカの権力者たちである事実を指摘しました。



37人の長崎市職員が犠牲になった原爆慰霊碑

での「女性九条の会」結成、「平和映画会」「平和ツアー」のとりくみ、ニュースの発行など、多彩な活動に会場からは大きな拍手が寄せられました。

つどいには、秋葉忠則・広島市長、田上富久・長崎市長、戸本隆雄・焼津市長から寄せられたメッセージも紹介されました。

翌日の8月9日の早朝には、つどいの参加者は、長崎市役所

## BOOK オン

『米軍・自衛隊  
一体化と日本国憲法』



編集・発行  
安保放棄中央実行委員会  
定価 400円

いま、全国各地で「憲法9条をまもれ」の運動が大きな広がりを見せています。一方で、この運動のなかで、「自衛隊は国を守るためには必要ではないか」「自衛隊は憲法改正で認めてもいいのではないか」という声もあるといいます。日本の自衛隊は、戦後の連合軍の占領のさなかの1950年、警察予備隊として発足しました。そして今日、自衛隊は「日米軍事同盟」の強化のもとで、おそろべき「軍隊」に変貌をとげつつあります。なぜいま憲法改正なのか、今日の自衛隊はどのようにして変貌をとげてきたのか。自衛隊の現状、実体を考えようというのが、このパンフレットです。「安保がわかるブックレット」シリーズの2冊目です。

庁舎横にある「慰霊碑」前で、長崎市職員原爆犠牲者への献花を行いました。1945年8月9日の長崎市への原爆投下で、37人の長崎市職員が犠牲になっています。